

平成22年度指定管理者収支実績報告書

		平成22年度						平成23年度
施設名	指定管理料 (A)	指定管理者				収支額に対する 担当部局の意見	参考 ※(B)指定管理料以外の収入内訳	指定管理料
		収入(B)※ (指定管理料含む)	支出(C)	収支額 (B)-(C)=(D)	割合 D/B %			
1 自転車駐車場 (安心安全課)	0	499,242,25	496,807,73	243,452	0.49%	収入・支出等の管理運営をすべて指定管理者が行っている。施設内の管理面についても様々な面で経営努力に取り組み、初年度において黒字経営となっている。なお、黒字部分については自転車駐車場指定管理納付金として市へ納付。		0
2 流山福祉会館 (社会福祉課)	8,586,000	8,643,396	8,554,263	89,133	1.04%	無料で入浴施設を週4日開設しており、年間6,449人の利用があった。光熱水費が高むため経費削減が難しいが、概ね良好な管理状態であった。	・雑収入(自販機電気料) 57,396円	8,692,000
3 西深井福祉会館 (社会福祉課)	5,175,000	5,343,567	5,125,597	217,970	4.21%	無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、小規模な修繕は管理人が行うなど概ね良好な管理状態であった。	・雑収入(寄附金、預金利子) 168,567円	4,940,000
4 南福祉会館 (社会福祉課)	4,927,000	4,927,821	4,403,193	524,628	10.65%	無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、小規模な修繕は管理人が行うなど概ね良好な管理状態であった。	・公衆電話利用料 430円 ・雑収入 391円 計 821円	4,632,000
5 名都借福祉会館 (社会福祉課)	5,681,000	5,683,041	6,053,652	△ 370,611	-6.52%	無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、指定管理者の費用で行う小規模な修繕が多かったため、マイナス決算となった。	・雑収入 2,041円	5,503,000
6 南流山福祉会館 (社会福祉課)	6,651,000	6,652,844	8,054,541	△ 1,401,697	-21.07%	無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、指定管理者の費用で行う小規模な修繕が多かったことや福祉会館まつり実施による経費増及び光熱水費が高み、マイナス決算となった。	・雑収入 1,844円	7,620,000
7 平和台福祉会館 (社会福祉課)	4,958,000	4,958,121	4,891,480	66,641	1.34%	無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、小規模な修繕は管理人が行うなど概ね良好な管理状態であった。	・雑収入 121円	4,934,000
8 下花輪福祉会館 (社会福祉課)	34,550,000	47,206,442	40,813,447	6,392,995	18.50%	有料施設である入浴施設の利用料金収入が安定しており、黒字決算できている。指定期間終了時において施設の機能修繕等に要する経費を支出後、残額が生じる場合は市と協議のうえ精算するとしている。	・利用料収入 12,291,050円 ・雑収入(按摩機、タオル販売等) 365,392円 計 12,656,442円	25,538,000
9 十太夫福祉会館 (社会福祉課)	21,997,000	21,997,000	22,218,000	△ 221,000	-1.00%	無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営している。今後経費削減を指導していきたい。		11,616,000 <small>(地域ふれあいセンター分)</small>
10 流山市地域福祉センター (高齢者生きがい推進課)	16,071,000	17,547,000	18,394,331	△ 847,331	-4.83%	節電、節水に心がけ運営を行ったが、夏の猛暑及び冬の寒さの厳しさから光熱水道費及び空調機の故障により、修繕費が当初計画予算から大幅な増となった。	・光熱水費社協負担分 1,476,000円	16,071,000
10 流山市地域福祉センター (身体障害者サービスセンター) (障害者支援課)	34,626,620	36,608,018	36,608,018	0	0.00%	介助員の臨時職員対応など経費の削減に努め、指定管理料の圧縮ができた。	・自立支援法に基づく利用者負担金 760,078円 ・給食費負担金 1,221,320円 計 1,981,398円	37,464,000
11 心身障害者福祉作業所(さつき園) (障害者支援課)	45,473,000	56,359,295	58,616,242	△ 2,256,947	-4.00%	指定管理料の範囲内でほぼ作業所の管理運営がなされている。また、自主事業のパン・洋菓子の加工販売事業に積極的に取り組み、工賃アップを図っている。	・就労支援事業収入 10,823,346円	49,843,000
12 十太夫児童センター (子ども家庭課)	21,997,000	21,997,000	22,218,000	△ 221,000	-1.00%	福祉会館との複合施設の収支実績で、無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しており管理費は縮減されているが、事業関連で人件費の支出が多くなっており適切な経費の支出を指導していきたい。		10,381,000 <small>(児童センター分)</small>

平成22年度指定管理者収支実績報告書

平成22年度							平成23年度	
施設名	指定管理料 (A)	指定管理者				収支額に対する 担当部局の意見	参考 ※(B)指定管理料以外の収入内訳	指定管理料
		収入(B)※ (指定管理料含む)	支出(C)	収支額 (B)-(C)=(D)	割合 D/B %			
13 コミュニティプラザ (商工課)	22,178,000	34,146,080	33,539,590	606,490	2.73%	平成22年度の収入は、利用者増があったものの、3月11日に発生した東日本大震災以降の姉妹都市への支援物資受入会場として全施設一般利用に供しなくしたため、前年度を下回った。 一方、支出においては、屋外テニスコート殺虫灯の交換・トイレ排水管補修・火災報知機増設、ルール改正によるバスケットコートのライン引き等が行われた。 また、上記支援物資受入期間の維持管理費は、若干減額となったと推測されるが、全体支出額は33,540千円で過去最大支出額となった。	・使用料 10,719,180円 ・自主事業 1,248,900円 計 11,968,080円	17,810,000円
14 生涯学習センター (生涯学習課)	52,000,000	95,655,236	120,628,218	△ 24,972,982	-26.11%	利用率及び稼働率の増加に向け、引き続き自主事業を積極的に展開し、東日本大震災により3月中に閉館したが、稼働率は47.1%(H21年度:40.8%)、利用者数は183,244人(H21年度:180,197人)と増加した。積極的な取り組みを評価する。例年にない酷暑による光熱水費等をはじめ、指定管理者自身が独自にモデル施設としてマーケティングリサーチ的にさまざまなジャンルの事業を自主的に試みたことから事業費を含め、支出が見込みを上回り、収支が△24,972,982円となりました。しかし、生涯学習施設としてのサービスの維持向上、更に今後の運営に向けた積極的な努力がうかがえます。	・利用料収入 9,685,710円 ・雑収入 770,170円 ・自主事業 32,647,402円 ・喫茶室のロイヤルティ 551,954円 計 43,655,236円	60,000,000
15 流山市体育施設 (生涯学習課)	63,160,000	101,898,252	90,060,193	11,838,059	11.62%	収入では、南部柔道場の年間管理による指定管理料の増があった。利用料収入は大震災による20日間の閉館による減を加味しても、ほぼ横ばいであるが、自主事業による増収がある。支出では、委託業務、修繕業務、備品購入等、民間レベルの視線で価格交渉や節水、節電に努める等経営努力をしながら施設改修整備等にも取り組んでおり、結果として黒字経営となっている。	・利用料収入 35,525,000円 ・自主事業収入 3,213,000円 計 38,738,000円	59,000,000
16 初石公民館 (公民館)	20,373,000	23,479,507	22,035,607	1,443,900	7.09%	収入は前年度に比べ0.9%、212,516円の減となった。その主な理由は、東日本大震災により3月の使用を制限したためである。支出は前年度に比べ4.3%、911,024円の増となった。その主な理由は、自主事業の開催543,079円、消費税571,100円、法人税626,392円の支払いによるものである。今後は、より一層の地域への還元事業の展開と、計画的な経営を指導したい。	・利用料収入 2,583,330円 ・軽食喫茶よつば電気等使用料 203,093円 ・その他 320,084円 計 3,106,507円	20,273,000
17 南流山センター (公民館)	21,049,000	25,322,173	25,913,373	△ 591,200	-2.81%	収入は前年度に比べ0.4%、104,476円の減となった。その主な理由は、東日本大震災により3月の使用を制限したためである。支出は前年度に比べ5.2%、1,276,891円の増となった。その主な理由は、自主事業の開催767,156円、消費税432,200円の支払いによるものである。ギャラリーの開設や施設の補修改善など地域への還元事業を積極的に展開したが、マイナス決算となった。今後は、赤字にならないよう指導していく。	・利用料収入 2,787,960円 ・南流山福祉会館電気使用料 1,049,011円 ・自主事業収入 234,300円 ・その他 201,902円 計 4,273,173円	21,009,000
18 東部公民館 (公民館)	20,585,000	22,034,296	21,036,727	997,569	4.85%	収入は前年度に比べ0.6%、135,851円の減となった。その主な理由は、東日本大震災により3月の使用を制限したためである。支出は前年度に比べ9.7%、1,863,734円の増となった。その主な理由は、修繕費の1,551,250円である。今後は、施設の補修計画に沿った計画的な支出を指導するとともに、自主事業のさらなる展開を期待したい。	・利用料収入 1,259,070円 ・その他 190,226円 計 1,449,296円	20,585,000
19 北部公民館 (公民館)	20,894,000	23,893,069	23,578,242	314,827	1.32%	収入は東日本大震災により3月の使用に制限があったものの、前年度に比べ0.5%、122,296円の増となった。支出は前年度に比べ4.4%、992,210円の増となった。その主な理由は、常勤の副施設長1名を増員したことに伴う人件費の増(1,873,919円)と、自主事業の積極的な展開によるためである。今後は、光熱水費の増加、3年目からの消費税の支払等が発生するため、計画的な安定経営を指導していきたい。	・利用料収入 1,330,240円 ・千葉県生涯大学校電気使用料 1,357,244円 ・自主事業収入 136,000円 ・その他 175,585円 計 2,999,069円	20,894,000
20 一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明 (図書・博物館)	11,800,000	14,131,825	13,818,431	313,394	2.22%	収入は、H21年度決算額が14,323,421円であることから、対前年度比△1.3% 191,596円の減、支出は、H21年度決算額が13,759,912円で、0.4% 58,519円の増となっている。観覧料の収入が対前年度比△15.3%減、入館者数は△15.4% 3,215人の減、自主事業では△5.8% 106,374円の減となっている。 指定管理料以外の収入をH21年度と比較すると、全体的に△7.6% 191,596円の収入減となっているが、これは入館者数が減少したことや東日本大震災の影響で3月に半月間休館したことなども影響したものと考えられる。しかしながら、指定管理者が計画したH22年度当初予算額に対し、自主事業において、収入増となっていること、また支出においても管理経費、自主事業経費等の支出を減らす努力をしたことにより、若干の収支増(313,394円)となったことは評価できるものである。	・観覧料 339,830円 ・施設利用料 241,255円 ・自主事業収入 1,724,326円 ・受託販売等手数料 26,414円 計 2,331,825円	12,900,000
21 北部地域図書館 (図書・博物館)	52,500,000	55,728,363	54,333,016	1,395,347	2.50%	複写機利用料、会議施設等の施設利用料、自主事業等が、当初見込みより、若干減であったことから、収入未済額は18,521円であった。独立行政法人福祉医療機構からの助成金収入1,225千円を受け増収をはかった。 余剰金の管理委託料に占める割合は 2.66%であることから、債務負担行為額への影響はない。	・コピー利用料 368,550円 ・施設利用料 803,640円 ・自主事業収入 26,200円 ・助成金収入 1,225,092円 ・その他 804,881円 計 3,228,363円	52,500,000